

令和7年度

防火服一式仕様書

(防火衣上下、防火帽、しころ及び防火長靴)

人吉下球磨消防組合

この仕様書は令和7年度に人吉下球磨消防組合が購入する消防隊員用個人防火服について必要な事項を定める。

この防火服一式は、ショート丈の上衣及びサスペンダー付きズボン、防火帽、しころ及び防火長靴にて構成されたものとし、防火衣の国際規格 ISO11999-3 (タイプ 1) 及び個人防火装備ガイドラインに準拠したものとする。

■防火服仕様

1 使用材料

(1) 外衣生地・配色生地 (上衣/ズボン共)

品名	テイジン エクスファイア®ダイヤリップ
混率	メタ系アラミド 82% パラ系アラミド 18%
色番	ゴールド/配色ネイビー (指定色)
組織	二重織
重量	235 ± 10 g/m ²
加工	撥水撥油帯電防止

外衣生地規格

項目	規格	備考
混率	メタ型アラミド 82% パラ型アラミド 18%	JIS L 1030
組織	二重織	JIS L 1096
重量	235 ± 10 g/m ²	JIS L 1096
引張強力	タテ 1400N以上 ヨコ 1200N以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	タテ 210N以上 ヨコ 180N以上	JIS L 1096 A-1 法
染色方法	メタ型アラミドは原液着色	顕微鏡法
番手	タテヨコ共 20番手双糸	JIS L 1096
密度	タテ 46本以上 (2.54cm間) ヨコ 44本以上 (2.54cm間)	JIS L 1096
燃焼性	残炎時間	1秒以下
	残じん時間	1秒以下
	炭化面積	10cm ² 以下
染色堅牢度	洗濯	(変) 4級以上 (汚) 4級以上
	汗変退色	4級以上
	摩擦	(乾) 4級以上
撥水度	L0/L10 5級以上/3級以上	JIS L 1092 スプレー法
撥油度	L0/L10 5級以上/4級以上	AATCC 118法
摩擦帯電電荷量	7 μC / m ² 以下	静電気用品構造基準による JIS L 1094 C 法

(2) 中衣

ア 透湿防水層（上衣／ズボン共）

アラミド100%基布に PTFE 素材（ゴアクロステック®メンブレン）をラミネートしたものと
する。

要求性能

（耐水圧：初期及び洗濯20回 294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面加圧 目皿使用）

（透湿度：850g/m²/h以上 JIS L 1099 B-2法）

（ウィルスバリア性試験 JIS T8061 D法：20回洗濯後 クラス6 合格）

イ 目止めテープ（シームテープ）

目止めテープ（シームテープ）は多孔質PTFEを基材とするフィルムに熱可塑性樹脂をラミネー
トした2層構造とする。

要求性能

（耐水圧：初期及び洗濯20回 294Kpa以上 JIS L 1092 フィルム面加圧 目皿使用）

透湿防水層生地規格

項目	規格		備考
混率	アラミド繊維 100%		JIS L 1030
組織	平織り		JIS L 1096
番手 (E. C. C)	タテ、ヨコ共 40番手単糸		JIS L 1096
重量	115g/m ² 以下		JIS L 1096
引張強力	経緯共 19.6N以上		JIS L 1096 ラベルトストリップ法
引裂強力	経緯共 19.6N以上		JIS L 1096 A-1 法 シングルタング法
燃焼性	残炎時間	1秒以下	JIS L 1091 A-1 生地面から接炎
	余じん時間	1秒以下	
	炭化面積	15cm ² 以下	
耐水圧	初期	294kPa以上	JIS L 1092 フィルム面加圧目皿使用
	20回洗濯後※1		
透湿度	700g/m ² ・h以上		JIS L 1099 B-2法
液体の浸透性	下記(a)～(e)がそれぞれ、80%以上流れ、かつ浸透しないこと (a) 20℃40%水酸化ナトリウム (b) 20℃36%塩酸 (c) 20℃37%硫酸 (d) ホワイトスピリット		ISO 6530 準拠
	(e) 人工血液（海面活性剤代用可）		ASTM F 1670
撥水性	初期	5級以上	JIS L 1092
	20回洗濯後※1	3級以上	スプレー法
耐ウイルス浸透性	20回洗濯後※1	クラス6 合格	JIS T8061 D法
人工血液浸透性	20回洗濯後※1	クラス6 合格	JIS T8060 D法

※1 洗濯：JIS L 0217 103に従い洗濯を繰り返し、タンブル乾燥を行う。

透湿防水層 目止めテープ規格

項目	規格		備考
素材	多孔質 PTFE を基材とするフィルムに熱可塑性樹脂をラミネートした 2 層構造		
耐水圧	初期	294 kPa 以上	JIS L 1092 フィルム面加圧目皿使用
	20 回洗濯後※1		
圧着方法	熱圧着方式		

※1 洗濯：JIS L 0217 103 に従い洗濯を繰り返し、タンブル乾燥を行う。

ウ 遮熱層兼裏地

(上着用) 品名 テイジン テックウェーブ™
 品番 X29F20
 混率 メタ型アラミド 89%
 パラ型アラミド 5%
 ポリエステル 6%
 色番 NB3 (当組合指定色)
 組織 二重織

(ズボン用) 品名 テイジン エクスファイア®リップストップ
 品番 X29R20
 混率 地組織部 メタ型アラミド 95%・パラ型アラミド 5%
 格子部 パラ型アラミド 100%
 色相 NB3 (格子部はゴールド色) 当組合指定色
 組織 平織りリップストップ

遮熱層兼裏地 (上着用) 生地規格

項目	規格	備考
混紡率	メタ型アラミド 89% パラ型アラミド 5% ポリエステル 6%	JIS L 1030
組織	二重織 (表：平織/裏：平織) 結節部として一部平織物有り	JIS L 1096
主たる素材の番手	タテヨコ共 40 番手単糸 (E.C. C 換算)	JIS L 1096
重量	130 ± 10 g/m ²	JIS L 1096 法
引張強力	タテ 670 ± 30 N ヨコ 710 ± 90 N	JIS L 1096A 法
引裂強力	タテ 63 ± 30 N ヨコ 67 ± 30 N	JIS L 1096A-1 法
燃焼性	残炎時間	1.0 秒以下
	残じん時間	1.0 秒以下
	炭化距離	10.0 cm 以下
		JIS L 1091-1092A-4 12 秒接炎法

遮熱層兼裏地 (ズボン用) 生地規格

項目	規格	備考
混紡率	アラミド繊維 100%	JIS L 1030
組織	平織 (リップストップ)	JIS L 1096
番手	タテヨコ共 40 番手双糸 (E. C. C 換算)	JIS L 1096

重量	160±10 g/m ²	JIS L 1096 法
引張強力	タテ950N以上 ヨコ800N以上	JIS L 1096 A 法
引裂強力	タテ55N以上 ヨコ50N以上	JIS L 1096 D 法
燃焼性	残炎時間	1.0秒以下
	残じん時間	1.0秒以下
	炭化距離	10.0cm以下

(3) 補助材料

ア 内袖口	アラミド100%ニット
イ 面ファスナー	幅25mm・50mm・38mm 難燃・撥水・静電タイプ
ウ 反射材	ユニチカスパークライト ST-14K/75PM-SL パンチング、シリコン加工
エ ファスナー	YKKファスナー
オ サスペンダー	ゴム製テープ幅38mm黒色
カ 押しホック	真鍮製#7050Aマーク
キ 縫製糸	メタ系アラミド 100% 40番 パラ系アラミド（フィラメント）30番（反射テープ部分）
ク アイスポケット	ナイロン黒メッシュ
ケ 補強材	パラ系アラミド100%基布にハイソリッドポリマーコーティング （ヒザ・裾口・袖口）

2 上衣

(1) 身頃

- ア ショートタイプの上衣とする。
- イ 前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け、地縫いをして片倒し飾り縫いとする。
- ウ 左前身に幅10cmの前立付きとし前立内側に難燃面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。コイルファスナーには引き手を取り付けること。
- エ 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付けること。
- オ 前立下部に押しホックを取り付けること。
- カ 後身頃は一枚仕立て裾部についてはロングテールタイプとすること。
- キ 前身頃胸部・後身頃背中・裾に反射テープを取付ける。
- ク 見返し上部にハギを入れ中衣着脱のコイルファスナーを付けること。
- ケ ポケット上部及びベルト通し裏面に力布として透湿防水層を縫い付けること。
- コ 右前身頃見返し下部に片布を取り付けること。
- サ 両胸ポケットの上部にマイクフックを取り付けること。
- シ 左右胸に雨蓋付三方風琴ポケットを縫いつけること。
- ス 背中上部に当組合指定の簡易DRDを内蔵した仕様とすること。なお、上から蓋を被せて、蓋には反射テープを付けること。

(2) 襟

- ア 表及び裏に共布を用いた一枚襟とし芯地を入れ地縫いの上飾り縫いをする。
- イ 襟巾は後中心で約11cmとする。
- ウ 襟の前部にはストラップを取り付けること。

なおストラップの形状は上辺部を逆円弧状にし、顎部との干渉を考慮した形状であること。

エ 襟付けは防水構造を用いた縫製とすること。

オ 表襟中央に襟吊りとサイズマークを付けること。

(3) 袖

ア 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とすること。

イ 運動性を良くする為に後袖山にダーツを設けること。

ウ 袖口にアラミド素材のジャージと浸水防止用透湿防水層を縫い付けること。

エ 袖口には擦れ防止用として幅約3cmの補強材（アラミドコーティング基布）を縫い付けること。

オ 袖中央部に反射テープを取付けること。

カ 袖口に中衣止め用押しホック付ナイロンテープを左右各2個取り付けること。

キ 両肘内部にパッドを入れること。

(4) 胸ポケット

ア 雨蓋付三方風琴ポケットを両胸に取り付けること。なお、脇下にD環を左右各1箇所取り付けること。詳細な位置については別途協議すること。

イ 雨蓋は面ファスナー開閉式とすること。なお、内側にアラシールド補強を施すこと。

ウ ポケット底部に水抜き穴を設けること。水抜き穴の大きさや個数は当組合と協議の上作成すること。

(5) 腰ポケット

ア 雨蓋付切りポケットを左右身頃に取り付けること。

イ 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け地縫いの上飾り縫いとすること。なお、内側にアラシールド補強を施すこと。

ウ ポケット底部に水抜き穴を設けること。水抜き穴の大きさや個数は当組合と協議の上作成すること。

エ ポケット内部には共生地を用いたフックを縫い付けること。

(6) 中衣

ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり各々を重ね縫いすること。

イ 肩部に難燃フェルトを縫い付けること。

ウ 両脇2箇所に保冷材収納用ポケットを縫い付けること。生地はメッシュを使用すること。なお、保冷剤を1組（2個）付属すること。

エ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いをし、ゴアシームテープで目止めをすること。

オ 右前身頃下部に取り扱い表示及びサイズマークを縫い付けること。

カ バイヤステープで身頃及び袖口を始末し外衣着脱用コイルファスナーを付けること。

(7) 背文字

ア 背中上部に反射黒色で「人吉下球磨消防組合」と熱転写シートにて表示を行うこと。

イ 裾部に反射黒色で「KUMAMOTO」と熱転写シートにて表示を行うこと。

ウ 文字の大きさ位置などの詳細については担当者と協議の上決定すること。

3 ズボン

(1) 身頃

ア ハイウエストタイプのズボンとする。

イ ズボンの形状は最初から「く」の字の様に曲がっているデザインとし、サスペンダーと当組合が所有する墜落制止用器具（NEO-R 2型）により支持するものとする。

ウ 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れること。

エ 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け地縫いして片倒し飾り縫いとする。

オ ベルトループの下に、カラビナフックを縫い付けること。「ハ」の字になるように左右1箇所ずつとすること。

(2) 前立て

ア 前立ては引き手付きコイルファスナーと面ファスナーの併用仕立てとし押しホックで止めること。

イ 押しホックの裏側には透湿防水層の当て布を付けること。

(3) 膝部

ア 運動性を良くする為に膝部はバイヤス裁ちにすること。

イ 膝部に補強布（アラシールド）を縫い付けること。

(4) 腰部

ア ベルト通し（有効幅約9 cm）を5本以上縫い付け右前ベルト通し下にサイズマークを挟み縫いすること。

イ ベルト通し下部左右には閉止めを施すこと。

ウ ハイウエスト内側部には補強として難燃フェルトを挿入しハイウエストの倒れ込み防止措置をとること。

エ ハイウエスト部の倒れ込みを防ぐためサスペンダーで補強する構造とすることとし前身頃上部及び腰裏部に外衣共生地にてサスペンダー受け金具支持台を縫い付けること。また、端末部分はおんぬき止めを施すこと。

オ サスペンダーは3点式とし防火服ズボン1着につき1本付属させること。

カ ベルト通しの下にカラビナ用フックを正面に取り付けること。

(5) 裾

ア 両裾から約10 cm上の位置に反射テープを取付けること。

イ 裾口脇側に開閉ファスナーを取り付けること。

ウ 裾口に絞り用フラップを取り付けること。

エ 中衣固定のため押しホック付ナイロンテープを取り付けること。

オ 裾口には擦れ防止用として補強材（アラシールド）を縫い付けること。

(6) 脇ポケット

ア ズボンの左右に雨蓋付き二方風巾ポケットを縫い付けること。

イ 雨蓋は芯地を貼り、面ファスナーを付けて地縫いの上飾り縫いとする。なお、内側にアラシ

ールド補強を施すこと。

ウ ポケット底部に水抜き穴を設けること。水抜き穴の大きさや個数は当組合と協議の上作成すること。

(7) 中衣

ア 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地からなり各々を重ね縫いすること。

イ 透湿防水層は地縫いをして片倒し飾り縫いシームテープで目止めをすること。

ウ 膝部に難燃フェルトを（遮熱層兼裏地側）縫い付けること。

エ バイヤステープで腰部及び裾口を始末し外衣着脱コイルファスナーと面ファスナーを付けること。

(8) 片布等

左身頃上部に取り扱い表示・片布・サイズマークを取り付けること。

■防火服上下 概要図



■防火帽仕様

1 構成

防火帽は帽体、装着体、顔面保護板、あごひも等で構成するものであること。

【別表1】参照。

2 性能

帽体については自己消火性を有することとし試験規格などについては【別表2】の通りとする。

3 構造

(1) 概要

この防火帽は、帽体表面はガンメタ色に仕上げ焼付塗装とし容易に剥離しないものであること。帽体内側には衝撃吸収ライナー装着体、あごひも、顔面保護板を取り付けること。顔面保護板は視野の障害にならない位置で帽体内部に収納できるものであり使用時に簡易に引き出せる構造であること。また帽体外部にはヘッドライト取付用のドットボタンを両サイドに取付けること。

(2) 形状等

ア 帽体

(ア) 本体

- a 【概要図】及び次の通りとすること。
- b 表面は滑らかで堅牢であること。
- c 帽体表面の仕上げはガンメタ色とし容易に剥離しないこと。

(イ) 徽章

【概要図】の通りとし帽体前面中央に強固に貼り付けること。

(ロ) 記名表示

帽体左右に白色で「人吉下球磨消防組合」と表示すること。

左右耳部に、無反射黒の下地に反射白、角ゴシック体で「苗字」を記名したシールを貼り付けること。

(ハ) 掛け金具

帽体後部中央に半月環状の金具を取り付けること。

(ニ) ヘッドライト取付け用ボタン

帽体両サイドにドットボタン（オス）を取付けること。

イ 装着体

(ア) ハンモック

かぶり深さを調整できる補助ハンモック付とすること。

(イ) ヘッドバンド

頭回りに応じて概ね54cm～65cmまでの範囲で調整できまたダイヤルラチェット式により装着時でも容易に調整可能でフィット感が高いものとする。

(ロ) しころ取付け板

- a しころ取付け用として帽体に取り付けること。
- b しころ取付け板にはドットボタン(オス)を5個取付けること。

(ハ) 頭頂パッド

頭頂部にクッション性吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した大型の頭頂パッドを着脱可能な方法で取付けること。

(ニ) ヘッドバンドクッション

後部ダイヤルラチェット部にクッション性吸水性及び耐久性に優れた素材を着脱可能な方法で取付けること。

ウ あごひも

紺色のアラミド繊維でリング式の調整金具によりサイズ調整が出来るものとする。

エ 衝撃吸収ライナー

難燃性を施した発泡スチロールとすること。

オ 顔面保護板

- (ア) 帽体ひさし部より内部の視野の障害にならない位置に収納できるものであり使用時に簡易に引出せる構造であること。※ケブラー手袋を装着したままでも容易に引き出せる形状にするよう協議すること。
- (イ) 顔面保護板を降ろした状態で帽体と顔面保護板の間に隙間がないこと。

カ ヘッドライト取付ベルト

幅 20mm の難燃ナイロンテープと同サイズのアジャスターを使用したサイズ調整可能なヘッドランプ取付ベルトを 2 本 1 組として付属すること。

【別表 1】

防火帽の構成等一覧

名称	構成等	
帽体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック	
衝撃吸収ライナー	難燃性を施した発泡スチロール	
着 装 体	ハンモック	ポリエチレン成形品黒色
	補助ハンモック	ポリエチレン成形品黒色
	しころ取付板	ナイロン成形品黒色
	ヘッドバンド	ナイロン成形品・ラック式ダイヤル部（POM樹脂）黒色
	補助ハンモック 調整ひも	ポリエステル又はナイロン製白色長さ350mm以上 両端ほつれ止め処理
装着体固定リベット	防食性を有する金属製	
あごひも	メタ系アラミドとパラ系アラミドの混紡糸平織り袋とじ幅18mmとする。メタ系アラミドは原材着色とする。	
あごひも調整金具	黄銅製または同等の強度及び防食性を有する金属製 (黒色ニッケルメッキを施したもの)	
顔面保護板	ポリカーボネイト成形品（両面ハードコート・防曇加工） 縦120mm±5mm 横190mm±5mm 厚さ1mm	
重 量	930g以下（防火帽のみ）	

【別表 2】

防火帽の試験規格一覧

項目	規格等
耐炎性	ISO 11999-5:2015 帽体素材・シールド：残炎及び残光<2秒 帽体塗装部分：残炎及び残光<5秒 あごひも：残炎及び残じん<2秒 溶融・滴下不可
熱伝達性	ISO 11999-5:2015 手順B 熱流束40Kw/m ² 3分 ・人頭模型表面温度 試験開始後180秒<24℃ ・帽体材料分離滴下不可 ・試験箇所周囲の帽体に機能を損なう膨張変形亀裂穴あき不可
耐熱性	ISO 17493:2000 熱風循環炉 180℃5分 溶解滴下分離不可発火不可収縮率≤5%
衝撃吸収性	EN 13087-2:2012（落下体法） 衝撃エネルギー：123J 頭部衝撃荷重<15KN

耐貫通性	ISO 16073:2011 ストライカ 1kg ストライカと検知部に接触がないこと。
耐側圧性	ISO 11999-5:2015 4.5.11 初期荷重30N時の側圧寸法に対し630N時の最大変形 ≤ 40 mm 30N時の残留変形 ≤ 15 mm
保持装置強さ	ISO 1999-5 初期荷重30N 250N負荷において全体最大の伸び ≤ 20 mm あご紐の最小幅 ≥ 15 mm
耐電圧性	EN 13087-8:2000 5.2 導電性試験 破損の兆候不可 漏れ電流 ≤ 1.2 mA
帽体の自己消火性	残炎・残じん時間：5秒以下 プロパンガス（純度95%以上）をブンゼンバーナー（口径10mm）を使用して青色炎が20mmとなるように調節して燃焼させ帽体のつば後部中心から左右50mm縁から20mmの位置を試験点とし帽体のつばを水平に保持し炎の先端を試験点に10秒間当てた後炎を取り去り帽体の残炎・残じん時間を調べる。
	JIS T-8131:2000 難燃性試験による。

【概要図1】

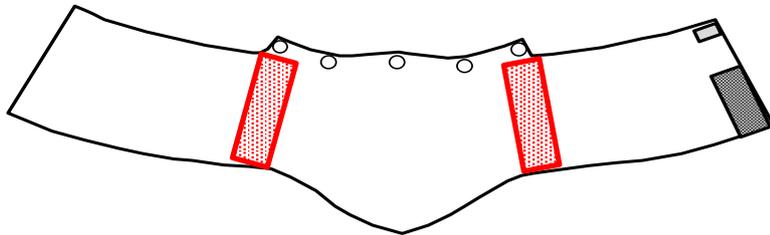


■しころ仕様

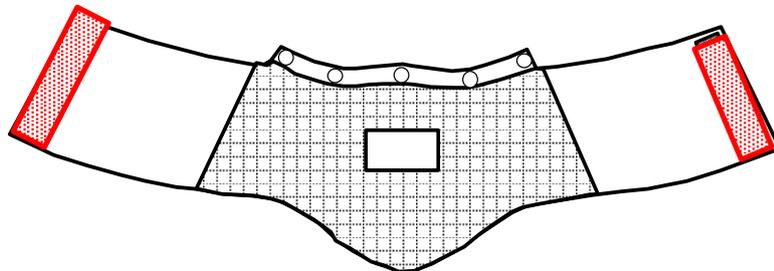
- 1 しころは1枚裁ちとし傷汚れ等の欠点のないものとする。
- 2 積層は外衣生地と透湿防水層を重ねて縫合させたものを使用すること。
- 3 裏面上部へりを綿テープにより補強すること。
- 4 顔面を覆う折り返しを外衣生地で縫付けること。
- 5 片布を裏面に縫い付けること。
- 6 色相はネイビー色とすること。
- 7 形状は【しころ 概要図】の通りとすること。
- 8 生地は防火衣と同じものを使用すること。

【しころ 概要図】

【表】



【裏】



■防火長靴仕様

1 構造及び材料

- (1) 防火長靴は透湿性を有する耐水皮革（フルグレイン牛革使用）でかつ、甲被部分は太陽光を反射し、温度上昇による影響を低減すること。これにより、足元が適度な温度で保たれること。つま先革、腰革は3重縫いであること。糸はメタ系アラミド繊維マルチフィラメントで撥水性であること。
- (2) 防火長靴は裏付きで爪先を保護する先芯を入れ、靴底に踏抜き防止板を入れたものであること。
- (3) 先芯はグラスファイバー強化複合材製ラバーリップ付であること。素材成分、高強度グラスファイバー織物65%、変性エポキシ樹脂35%とすること。
- (4) 踏抜き防止板は鋼鉄板を使用、両面を防錆処理してあること。
- (5) 人体に帯電する静電気が表底から漏えいする構造であること。内部には導電性ストリップを取り付け中敷きから筒革まで約5cm延在させること。
- (6) 爪先の甲部分の上部に視覚的インパクトのある黄色の形状パターンと特殊なリブ形状を配置した難燃性のTPU（熱可塑性ポリウレタン）製トゥキャップが甲被に接着され、リアキャップ端部において2重縫いで靴底に固定してあること。
- (7) 先芯の内側から後端部内側にかけてはゴアクロステックラミネート技術による3層（ナイロン/ポリエステル織物層、PTFEメンブレン、ポリアミド性裏側層）構成で、防水性、通気性を保つこと。血液その他体液の侵入に対して、優れた防止性能を発揮し、（ウイルスや細菌の侵入を阻止）化学薬品からの保護も機能すること。また、後端部内側はなめらかな牛革が上部から下部へかけて施してあること。足型底部の距骨、踵部分は、足の形状に適合し、適切な丸みを帯びていること。
- (8) 甲革から筒革外側前部に2ゾーン式レーシングシステム（迅速かつ適切な靴紐調節）を施し、正しいフィット調整と甲プロテクタを統合すること。2ゾーンレーシングシステムは下部及び上部のレーシング部分からなり、別々の靴紐（黄色、黒色）を使用する。下部はプラスチック裏材を施した難燃性繊維ループ3対また上部は革で被覆したプラスチックループ3対により、それぞれを構成する。

これら固定具により、甲及びふくらはぎ部分の靴紐を適度にフィットさせ、特に踵部分の位置を正しく保つこと。甲プロテクタは難燃性ポリアミドプロテクタの黄色とし、物理的衝撃による甲部分の保護をすること。補強部を追加して、厚さ10mmの網状ウレタンフォームによるパッティングを入れて向こう脛も保護すること。
- (9) 筒革外側横に、靴紐端部を収納するためのポケットを設けること。
- (10) 筒革上部には1歩歩くたびに空気を循環させる通気システムとし、空気や湿気の自由な出入りを可能にする柔軟性のある多孔性の折り返し部を設けること。折り返し部及び砂よけの裏材は通気性があり、柔軟性を持たせて蒸発を促す、耐摩耗性及び形状加工を施したポリエステル生地であること。
- (11) 筒革の後端部の折り返し部には耐水加工した白革のネームラベルを配置すること。
- (12) 履き口前後部に脱ぎ履きを容易にするためのノーメックスストラップ、ダブルステッチ黒色、幅25mmループが施してあること。
- (13) 表底は革製長靴と一体成型された軽量、滑り止め効果のある形状ラバーソール（表底接地部）及

びPU（ポリウレタン）製であること。2色のアウトソールパターンとし、鮮やかな黄色を使用することにより、閉鎖空間での匍匐前進する際に暗闇での目印として機能すること。ソールのつま先と踵部分に特殊な窪みを設け、つま先から踵まで屈曲性を最適化されていること。ソールにはノンマーキング性、静電気帯電防止性能、耐油性、耐熱性であること。

- (14) 中敷は耐摩耗性を備え、湿気を逃がすポリエステル100%であり、連続気泡フォーム製の2パート形インサートであり、人体解剖学に基づく形状を採用し、EVA（エチレン酢酸ビニール）製の踵部分は、黒色のPES（ポリエーテルサルフォン）製フリースでカバーしていること。
- (15) 靴紐（黄色、黒色）取り換え用1組付属すること。

2 サイズ

表示サイズ(EU)	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
cm	23.5	24	24.5	25	25.5	26	26.5	27	27.5	28	28.5	29	29.5	30	30.5

別図



■その他

この防火服一式について、納入日より1年間における品質に著しい不良が認められた場合、契約者負担で修繕をすること。但し、使用方法、使用環境、保管方法、洗浄方法等に対し適切でない状況下での破損等についてはこの範囲に含まない。